

令和6年度 学生自己評価/アンケート集計結果表 (学校生活)

<回答者：学生>

評価 4：十分に評価できる 3：ほぼ評価できる 2：やや不十分である 1：不十分である

設問番	授業/その他					評価平均
1	・予習をして授業に臨みましたか。	4	3	2	1	2.8
2	・あなたの授業態度はどうでしたか。	4	3	2	1	3.4
3	・授業の内容を理解できましたか。	4	3	2	1	3.1
4	・授業はわかりやすい工夫がなされていませんか。	4	3	2	1	3.3
5	・あなたにとって授業の進む速さはどうでしたか。	4	3	2	1	3.4
6	・教師の話し方は明瞭でしたか。	4	3	2	1	3.2
7	・授業の重要な点を明確に把握できましたか。	4	3	2	1	2.3
8	・授業中に質問や発言をしましたか。	4	3	2	1	3.1
10	・毎日の学院生活を楽しいと感じていますか。	4	3	2	1	3.2
11	・授業以外の活動（行事）に積極的に参加できましたか。	4	3	2	1	2.9
12	・悩みを相談できる友人または先生がいますか。	はい				90%
13	・今年度ボランティアに参加しましたか。	はい				60%
14	・放課後、休日にアルバイトをしていますか	はい				20%
15	・アルバイトの目的は何ですか。（多い順）	・学費（1）				
		・住居費（2）				
		・遊興費（3）				
		・その他（4）				
16	・学校環境で改善してもらいたいことがあったら記載してください。	猛暑での授業はきついで冷房設備がほしい。				
17	・授業についてあなたが思うことを自由に記載してください。	パワーポイントの授業が見えにくい。				
18	・その他					

令和6年度

教職員自己評価集計結果表

<回答者:教職員>

評価 4:十分に評価できる 3:ほぼ評価できる 2:やや不十分である 1:不十分である

領域	評価項目	評価の観点	評価平均
教育方針	教育方針・目的	1 福祉系専門学校として適切な教育方針・目的である	0.0
		2 学校・学生の実態を適切にふまえている	4.0
教育指導	教育課程	3 学生の学習能力が適切に把握されている	0.0
		4 教育設備・教材が適切に整備・管理されている	3.5
		5 教育課程の運営が適切に行われている	4.0
	授業内容	6 学生は授業内容を適切に理解している	3.0
		7 授業内容が適宜見直しをされている	4.0
	授業時間	8 規準、学則で決められた授業時間数が適切に確保されている	4.0
	情報教育	9 パソコン・ITの活用に適切に取り組んでいる	3.0
	資格取得	10 資格取得に適切に取り組んでいる	4.0
		11 資格のニーズが適切に把握されている	4.0
	実習	12 現場実習への支援態勢が適切である	4.0
	卒業認定	13 規定に則って適切に認定されている	4.0
	成績評価	14 規定に則って適切に評価されている	4.0
		15 適切な評価方法で評価されている	4.0
	学生自主研鑽	16 学生への支援態勢が適切に整備されている	0.0
	図書・資料整備	17 種類・数量等は適切に整備されている	3.5
		18 毎年適切に購入・導入されている	0.0
	学則・諸規定等整備	19 学則・諸規定等が適切に整備・管理されている	0.0
		20 学則の点検を適宜行っている	4.0
		21 学生便覧の点検を適宜行っている	4.0
		22 厚生労働省等の通知等に適切に準拠している	4.0
	学校・学生の記録の整備・管理	23 教育課程が適切に整備・管理されている	0.0
		24 行事記録が適切に整備・管理されている	0.0
		25 シラバスが適切に整備・管理されている	0.0
		26 学籍簿が適切に整備・管理されている	0.0
		27 出欠記録が適切に整備・管理されている	0.0
	卒業生等に対する支援	28 リカレント教育が適切に実施されている	3.3

領域	評価項目	評価の観点	評価平均
学生募集	入学者選抜方針	29 福祉系専門学校として選抜方針が適切である	0.0
		30 福祉系専門学校として求める人材・人物像が明確である	4.0
	入学者選抜方法	31 入学者選抜方法が適切である	4.0
	広報・募集方法	32 推薦・一般、新規高卒生・社会人の募集方法が適切である	4.0
		33 学校見学会等適切に広報活動が行われている	4.0
		34 高校現場の動向・状況を適切に捉えている	3.8
入学者の推移	35 高校別・学科別動向が適切に把握されている	3.8	
学生生活	生活指導	36 福祉系専門学校として生活指導方針が適切である	4.0
		37 教職員の共通理解が適切に図られている	4.0
		38 指導方針が適切に統一できている	4.0
		39 面談・カウンセリングを通して学生理解が適切に行われている	3.8
	健康管理	40 健診が適切に実施されている	0.0
		41 保健室が適切に整備・管理されている	3.0
		42 健康記録が適切に整備・管理されている	4.0
	安全	43 施設・設備の安全点検、安全指導が適切に実施されている	3.5
	学校行事	44 内容・回数等が適切に実施されている	4.0
	学友会活動	45 学生が自主的・適切に活動している	4.0
	サークル活動	46 活動への適切な支援・援助がある	2.3
	ボランティア活動	47 学生の取り組みが積極的・適切である	4.0
	寮生活	48 寮生の生活指導が適切に行われている	4.0
		49 寮生の相談支援が適切に行われている	4.0
	中途退学者	50 指導・実態把握が適切に行われている	0.0
	就職指導	51 就職セミナー等を適切に実施している	3.8
52 就職支援体制が適切である		3.0	
53 就職相談が適切に行われている		3.3	
54 求人開拓が適切に行われている		3.0	
組織・運営	管理運営	55 組織・分掌が適切に機能している	4.0
	組織運営	56 分掌構成のバランスが適切である	3.8
		57 適材適所に適切に配置されている	0.0
	情報公開	58 情報の公開は適切に行われている	3.8
		59 個人情報適切に保護されている	4.0
危機管理	60 危機管理体制は適切である	3.8	
教職員	教職員研修	61 校内外の研修に適宜参加している	3.8
	研究活動	62 紀要は適宜発行されている	0.0
施設・設備	管理運営	63 施設・設備の管理運営は適切である	4.0
	点検整備	64 点検整備は適切に行われている	3.8

令和6年度学校関係者評価委員による評価結果

I 学生の自己評価についての感想・意見・要望

- ・授業及び実習に関して満足度の高い評価となっており、引き続き学習意欲を高める工夫を続けてほしい。
- ・授業の重要な点について、理解に至らない学生が散見されている点が課題である。
- ・ピアノの練習は、日々10～15分でも良いので行わないと、授業についていけなくなる。実習や就職後、必ず必要な技術であるので、資格取得を目的として入学した初心を忘れずしっかり努力してほしい。

II 教職員の自己評価についての感想・意見・要望

- ・適切な評価と思われる。
- ・授業に係る学生の理解を進めるために、わかりやすいパワーポイント資料作成を工夫して頂きたい。
- ・学生と正面から向き合っていることがよくわかる。
- ・5月の教育実習終了後に認定こども園から採用したいという連絡があったということも指導の効果のあらわれと思われる。

III 本学院のこれまでの歩みを通して、魅力ある保育者養成の専門学校として存在するためには、どのような改善点が必要か。

- ・エアコンの設備の充実は、最優先課題と思われる。
- ・予算等の課題もあると思われるが、学習意欲と学習環境の向上のため、冷房設備については、一考してみてもらえればと思う。
- ・学院創立58年の長い歴史をこれからも繋げていくために、教職員の評価と学生の評価の乖離を縮めていく必要があるのではないかと。卒業生として、母校が末永く続いてくれることを切望する。

IV その他

- ・東奥保育・福祉専門学院の実習生を受け入れているが、優秀で素直で一生懸命さが伝わる。教職員の指導の成果も要素の一つと思われる。